

前向きに挑戦する福井の企業を応援します

# F-FACT

ファクト〉 Fukui advanced companies' try

【特集】 交流人口の拡大をビジネスチャンスに  
～観光視点で事業展開を考える～

vol.29

## 「福井県観光新戦略」による目標数値

平成27年3月に県が策定した福井県観光新戦略。「極める」、「輝かせる」、「繋げる」、「伝え、動かす」、「心をつかむ」、「世界から招く」の6つを基本戦略として、以下の数値目標を掲げ、本県観光の振興を総合的かつ戦略的に推進しています。

### 計画期間

平成27年度～平成31年度（5年間）

平成25年実績

平成31年目標

- ①観光客入込数  
1,034万人 → 1,300万人
- ②観光消費額  
836億円 → 1,200億円
- ③観光客入込数100万人以上の観光地数  
1か所 → 5か所
- ④教育旅行受入数  
6.9万人 → 10万人
- ⑤外国人宿泊客者数  
2.8万人 → 10万人

## 舞鶴若狭自動車道、中部縦貫自動車道 開通

嶺南や奥越は入込客数順調！経済効果も。

開通から約3年半がたつ舞鶴若狭自動車道と、昨年7月に永平寺～大野間が開通した中部縦貫自動車道。それぞれ交通量、入込客数ともに数字を伸ばしています。また、嶺南や奥越等の沿線地域では観光客数の増加や企業誘致など、さまざまな経済波及効果ももたらされています。

### 舞鶴若狭自動車道（開通3年経過時）

- 嶺南地域の年間入込客数  
881万人（開通前より148万人増）
- 25社の新規企業立地  
→約1,100人の新規雇用

### 中部縦貫自動車道 永平寺大野道路 （昨年7月時点、前年比）

- 勝山：平泉寺周辺観光客数 **4倍**
- 大野：大野市内まちなか観光 **15%増**

## 新幹線敦賀開業

鉄道利用による交流人口が  
1.5倍以上に増加

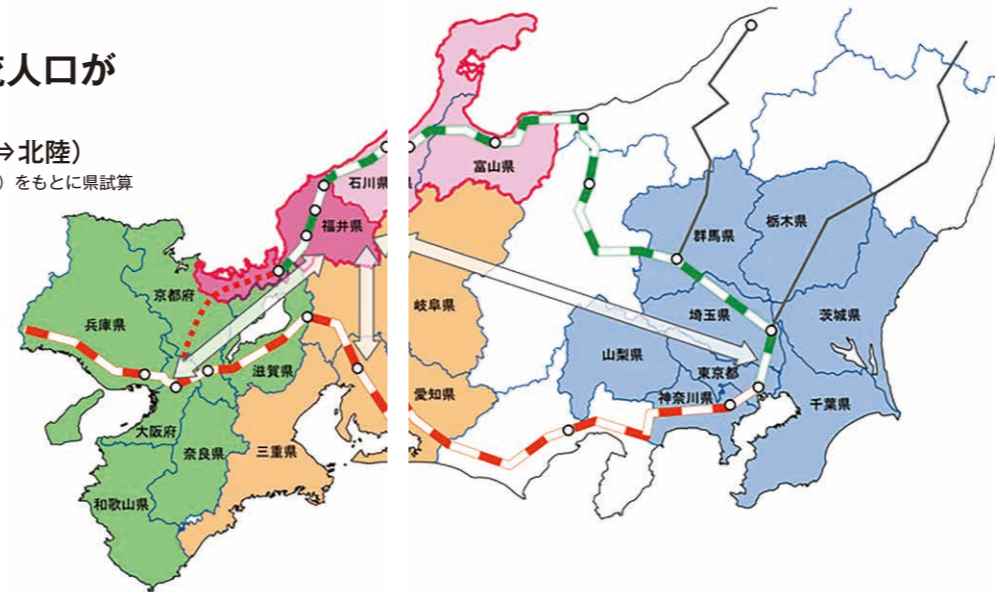
（三大都市圏⇄北陸、北陸⇄北陸）

出典：全国新幹線旅客純流動調査（H22）をもとに県試算

北陸新幹線敦賀開業で大きな時間短縮効果や移動利便性が生まれ、交流人口拡大による経済効果や雇用創出効果ももたらされると期待されています。

### 敦賀開業による福井県への 経済波及効果

（H24.11北陸経済連合会調査、  
（※北陸経済研究所試算）



経済波及効果  
約**210**億円/年

雇用創出効果  
約**1,900**人分/年

視すべきなのは、言うまでもなくインバウンドをターゲットとしたものです。現在本県にいられている外国人観光客の方々の実態と、金沢や日本全国にいられている方々の実態の両面から学び、今から対策を講じていくべきです。

また、現在は間接的で非常に小さい波及効果であっても、観光における今後のマーケットやイノベーションの動向によって関わりが大きくなる業種も出てくるでしょう。

今後のマーケットとして重視すべきなのは、言うまでもなくインバウンドをターゲットとしたものです。現在本県にいられている外国人観光客の方々の実態と、金沢や日本全国にいられている方々の実態の両面から学び、今から対策を講じていくべきです。

また、現在は間接的で非常に小さい波及効果であっても、観光における今後のマーケットやイノベーションの動向によって関わりが大きくなる業種も出てくるでしょう。

今後のマーケットとして重視すべきなのは、言うまでもなくインバウンドをターゲットとしたものです。現在本県にいられている外国人観光客の方々の実態と、金沢や日本全国にいられている方々の実態の両面から学び、今から対策を講じていくべきです。

最後に、観光と関わりのない産業・企業にとっても、間接的に観光消費と結びついていくことをお伝えしたいと思

各産業・企業の皆さまにおきまして是非、最終製品やサービスの行き先が、観光客であるケースをイメージしてみたいかがでしょうか。

観光は長らく、漠然と地域振興の切り口として捉えられてきましたが、近年は特に、地域の重要な産業として、さらには21世紀のリーディング産業として捉える動きが活発化しています。私は以前より、入込客数や観光消費総額だけでなく、観光による経済波及効果が本県経済に対してどの程度のインパクトになるかを研究してきました。それにより、福井の産業界から見た観光の位置づけを次のように考察しています。

一つ目として、観光振興を図る上では地域の産業・企業が重要な役割を持つ主体であるということ。実際に、大都市部を中心とした発地側の旅行会社等が企画する発地

型観光と比べ、着地側にてそれを行う着地型観光が注目されています。この着地型観光は、発地側でつくりにくい体験・学習・交流型のメニューや、地域住民等の参加が一番の魅力です。伝統産業や地域産業が直接的あるいは間接的に関わることで、福井ならではの着地型観光ができるようになります。

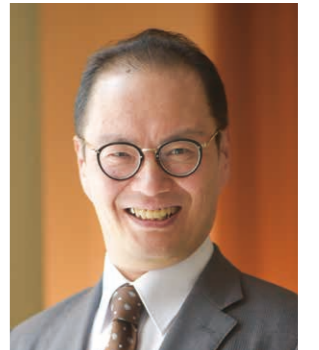
さらに、県外との取引の多い企業は、相手先から見ると「福井県と言えば○○産業・○○社」と思い浮かべられるような、いわば福井の顔となっているケースも多いのではないのでしょうか。ましてや商談や取引の場が本県であれば、応対する社員は福井のPR大使ともなりうる存在です。そ

のもてなしは本県の観光振興にとって非常に重要であるとともに、その企業の利益につながることもなります。

二つ目に、県内企業の皆様にぜひ挑戦いただきたいのが、産業・企業における観光を切り口にした連携事業の推進です。観光客と直に接する旅館や飲食店、小売店などと積極的に連携することで、需要的に連携することで、創造・拡大や異業種との交流・連携といった相乗効果を得られるほか、消費者ニーズの把握、新商品の開発、企業イメージの向上などにつなげていくことが期待できます。

### ～この人にお聞きしました～

福井県立大学  
地域経済研究所 経済・経営学研究科 講師  
江川 誠 氏



観光振興・地域振興、高速交通体系とまちづくり等を専門にし、北陸新幹線による県内経済や暮らしへの影響等を研究。授業では、県内観光地へのフィールドワークを通じた実践的な教育を実施する他、コメンテーターとしてテレビ番組への出演も多数あり。

CONTENTS

01 特集 交流人口の拡大をビジネスチャンスに～観光視点で事業展開を考える～

- ・イントロダクション  
＜巻頭インタビュー＞  
福井県立大学 地域経済研究所 講師 江川 誠 氏
- ・地域資源活用  
企業事例：内田製材所
- ・お土産品開発  
企業事例：(株)ほっと今庄  
観光土産品開発の極意/西山 雅彦 氏  
福井県優良観光土産品ダイジェスト
- ・産業観光・体験  
企業事例：野村醤油(株)  
工房解放イベント「RENEW」

11 今月の注目企業 (株)グランディア芳泉  
13 完成への道のり (株)ノーステック  
15 脱ITオンチ経営  
16 産業情報センター入門 (株)フィッシュパス  
17 学びと人材育成  
18 グッドデザインシンキング  
19 インフォメーション 他

内田製材所  
 uchida-seizaisyo.com  
 所在地：福井市大丹生町118-6-2  
 電話番号：0776-88-2216  
 代表者：内田 喜通氏  
 従業員数：8名  
 事業内容：製材、設計施行、飲食・宿泊事業



こだわりの材木を生かした空間が特徴のゲストハウス。一棟丸ごと、1日30,000円(税抜)で泊まれ、グループでの利用に人気です。



越前海岸沿いの人気カフェ「マーレ」(写真左と右下)と  
 同社が運営するゲストハウス(写真右上)。

「地域資源」を活かす

# 海という資源を活かし、体験型マルシェを計画

内田製材所

日本海を見晴らすロケーションがSNSで評判となり、今では年間約6万人が訪れる越前海岸沿いのカフェ「マーレ」。昨年5月、カフェの近くにゲストハウスを新設した他、現在、木製コンテナユニットを活用した産地連動型のマルシェ事業を計画しています。「福井は自然に恵まれた資源県」と語る内田製材所およびM&Yアソシエイツの代表取締役 内田喜通氏に、製材業と飲食事業を融合させた経営革新計画について伺いました。

## 目前に広がる日本海は世界で注目される場所

日本海に面したカフェ「マーレ」や足羽山のカフェレストランなど、飲食事業を展開するM&Yアソシエイツ。地元の木材で建築事業を営む内田製材所。どちらも、内田氏が代表を務めています。「親父が創業した製材所に入社したのが21歳のとき。伐採していた地元の松に松枯れが始まって、このままでは将来ヤバイなと思っていった」と語る内田氏。あるとき、地元の人から越前海岸沿いの田んぼ1200坪を有効利用できないかと相談を受け、1995年にカフェ「マーレ」をオープン。「海が好きで、思いつきで始めた」飲食事業は、当時、海岸沿いに喫茶店がなかったこともあり、次第に来客者が増加しました。「開店当初は、日本海に特段の思い入れはなかった」と語る内田氏。転機になったのは、海外でのスキューバダイビングでフランス人ダイバーと交わした会話です。「僕が日本人だとわかると、『日本にも、世界中のダイバーが

憧れる玄達瀬という素晴らしい海がある」と教えてくれた。「それ目の前にあるよ!」って思いましたね」。玄達瀬は越前海岸から約50キロ沖合にあり、身近な日本海が世界で注目される特別な場所だったことに驚いたといいます。

## SNSで海の魅力発信 民宿でビジョン体験も

改めて「日本海は豊かな資源」と気づいた内田氏。「この資源を、どうやって知っていただくか。ここに来ること自体が、その人のバリエーションになるようにしたい」と考え、約6年前からSNSを活用した情報発信に着手します。「カフェの若いスタッフが、日々表情を変える海の風景などをネット上にアップするようになって、それまで年間約3万人だったお客さまが2倍に増えました。SNSは、小規模零細企業ならではの攻め口だなどと思います」。

また、内田製材所が建物を手がけた近隣の民宿「アーバンリゾート」と連携し、海鮮バーベキューのメニューを提供するようになると、客単価



ながる産地連動型のマルシェ事業を計画。福井県から経営革新計画の承認を受けました。

## 地域の協力者と連携し 故郷の海の資源を開拓

マルシェ事業では、「マーレ」敷地内に内田製材所による木製のコンテナユニットを配し、地元の業者と提携した海鮮類の土産販売とレシピ提案、実際に自分で魚を捌く体験ワークショップなどを行う予定です。

新しい計画の背景には、「人口減少による働き手不足の課題もある」と語る内田氏。「次の20年を考えると、お客さまへのサービスはそのままでも働く人数を絞らざるを得ない。マルシェはセミセルフスタイルにし、スタッフは体験のサポートに徹するシステムを考えています」。現在、内田製材所とM&Yアソシエイツのスタッフは合計8人。月に1回勉強会を開き、意見やアイデアを交わし



海が一望できる2階から吹き抜けでつながる3階のベッドルーム。

ています。幅広く事業を広げる内田氏ですが、その原点は「木材」。ベースは建築です」ときっぱり。活動の拠点は、生まれ育った海沿いの町に定めています。「一番土地の知識があつて、協力者がいる。まず、この資源を120%活かしたい。ないなら、どこいっても意味がないよ」と熱く語ります。マルシェ事業展開にあたり、長年の人脈とノウハウを活かした新しい卸売サービスや地域と連携した体験サービスなども模索。日本海という「資源」の魅力、次々と開拓しています。



内田 喜通氏

～この人にお聞きしました～



デザインディレクター  
**西山 雅彦氏**  
N-DESIGN 代表  
福井県よろず支援拠点  
コーディネーター

ブランディングから商品・サービスの開発まで一貫通貫により、生活者の視点でサポートするデザインの専門家。今庄地区のサイン・看板や土産品など幅広くディレクションした実績を持つ。

## 観光土産品開発の極意

### ～地域ブランド商品を 生み出すには?!～

福井県への観光客の増加をチャンスにと、お土産品開発を計画している企業や地域も多いのではないのでしょうか。観光土産品を開発するにあたり、地域のブランド化を図ることも重要といえます。ここでは、日本遺産（+北前船寄港地・船主集落）や近代化遺産（旧北陸線トンネル群）で注目を集める南越前町のお土産品開発にも携わっている専門家にインタビュー。地域ブランドの確立とお土産品開発についてお聞きしました。

#### 地域ブランド…間違った5つの認識

観光を切り口に地域を盛り上げようと、地域のブランド化へ向けた動きが全国各地で見られます。地域ブランド確立のためには、地域固有の歴史や伝統文化を深く理解し誇りを持ち、その物語性を体感した地元の人たちが、マーケティング力、クリエイティブ力、デザイン力を高めて取り組んでいくことが求められます。しかし、地域ブランドの価値を高めていくにあたり、つい間違った認識をしてしまうことがあります。まずは5つのよくある間違いをご紹介します。

- 間違い①** 地域や観光土産品に対する知名度を高めることが、地域ブランドである
- 間違い②** 作り手の強いこだわりがあれば、地域ブランドになる
- 間違い③** 地域ブランド化とは、地域団体商標に登録されることである
- 間違い④** 地域ブランド化を推進するには、地名入りのネーミングが不可欠である
- 間違い⑤** 地域の単品を束ねて、統一したマークやブランド名を付けたら地域ブランドになる

地域ブランドは、③④⑤のように商標や名前、マークを付けただけでは全く意味がないといえます。観光客の頭の中に魅力的な価値が生まれるよう、継続的かつ効果的なプロモーションが行われることがブラン

ドとして成立するために欠かせません。また、地域団体商標を取得し売上げ拡大を目指すことはよいのですが、観光客に共感をもって認められることとそれとは別もの。あくまで、お土産品を手取る最終顧客に「イイね!」と付加価値として認められてこそ意味があります。その評判が広まり定着することで、ブランドとなっていくものです。当然、時間がかかるということ念頭に置いていただきたいですね。また、商品へのこだわりも独りよがりにならないよう、それが観光客にとって魅力的な価値になるように伝え方に工夫をしていくことが大切です。

では、良いお土産品とはなんなのでしょうか？ お土産品開発をする際、私は特に次の5つを重視して進めています。第一に、魅力ある「①商品力」が当然のごとく必要です。その次に「②時代性」です。ネーミングやパッケージデザインをセンス良く仕上げることや、食べ物なら「安全性」もそれに当たるでしょう。さらに、広告やプロモーションといった「③情報発信力」。さらに「④安定供給」ができること。そして、その土地ならではの気候風土、歴史や生活感といった「⑤地域特性」を意識することが必要ではないでしょうか。

いずれにしても、地域のブランド化やお土産品開発は企業や個人が単独でするには難しいことです。内外の協力者とともに、バランスよく進めていくことが大切ですね。コーディネーターや専門家など、地域を取りまとめ、活動する人のモチベーションを引き上げてくれる専門家に参画してもらうことも良い方法です。

## 西山氏が携わった観光土産商品をご紹介します

#### 福井県 優良観光土産品 優秀賞受賞 きき酒セット商品「歴史が醸す四蔵元物語」



今庄宿の創業300年を超える老舗酒蔵4軒が手を取り合い、飲み比べができるセットを商品化。パッケージには4蔵元と北国街道今庄宿の歴史が紹介されており、手にした観光客にその魅力を伝えるツールにもなっています。  
1箱4本入り（1本180ml）  
1,944円（税込）  
（一社）南越前町今庄観光協会



2018年4月、新たに西山氏がデザインディレクションを担当する、「日本遺産認定 北前船寄港地・船主集落 河野地区の特色を活かした土産品」が発表予定です。

中央の版画風のイラストやロゴタイプデザインは、国道入口案内看板と今庄駅前広場の観光看板とイメージを同じにし、観光客への印象を統一化しています。



#### 「お土産品開発」

### 福井県優良観光土産品 最優秀賞受賞 今庄の食材で新たな逸品を開発する

有限会社ほっと今庄

今庄～敦賀間旧北陸線トンネル群が鉄道遺産に認定され、全国の鉄道ファンの熱い視線が注がれる今庄地区。鉄道遺産にちなんだ観光土産品をと開発された「今庄つるし柿チョコレート」が第9回福井県優良観光土産品の最優秀賞を受賞するなど、好評を得ています。開発への取り組みと想いを、代表取締役の野崎由美子氏にお聞きしました。

#### 「良いもの」目指し デザインも抜かりなく

地元の食材を使った手作りの品を取り揃える「ほっと今庄おばちゃんの家」。昨年3月の今庄駅舎リニューアルオープンに向けて、「鉄道遺産にちなんだ良いお土産品を作れないか」と南越前町から話をもち掛けられたのが商品開発のきっかけでした。同じく町が依頼したフードコーディネーター佐々木京美氏との打ち合わせにより、今庄特産のつるし柿とチョコレートを合わせたお菓手に決定。早速試作を開始することになりました。

「お土産品としての依頼でしたが、商品開発はいつも通りのスタンスで臨みました。地元で採れた食材を無添加・手作りでの良いものに。これまでの経験や佐々木さんのアドバイスで、柚子やブランドーも加え、品質を高めていきました。」  
当初、チョコレートの付きの悪さに苦労した工程も、社員のアイデアにより型を使った成形方法に変更して克服。生産スピードも上がり、ま



まった数量にも対応できるようになったようです。さらに、パッケージは深みのあるレンガ色をベースに金色のアクセントで鉄道トンネルのイラストをあしらったデザインに。「つるし柿が希少なもので、高価格になることは初めから分かっていました。デザインの企画会社との打ち合わせを重ね、多少印刷のコストは嵩んだとしても、高級感のあるパッケージを目指しました」と野崎氏。自身のクオリティの高さと、それに伴ったパッケージデザインが商品としての完成度を上げる結果につながったようです。

#### 企業のこだわりは崩さず 独自性を最大の魅力に

今庄のつるし柿は、囲炉裏の煙で燻すという全国的にも珍しい製法から生まれる独特の風味が特徴。そのスモークとカカオの風味が溶け合ったこれまでにない味わいが、このチョコレート最大の魅力といえます。「1箱55gで1,300円。決して安いものではありませんが、発売から人気商品でお問い合わせも多くあります。和と洋のコラボで他にない」というところが興味を持たれているのではないかと思います」と野崎氏は推察します。

県外からの鉄道遺産ツアーの団体客はもろろんのこと、各地元メディアで取り上げられた影響もあり県内客にも人気とのこと。「最初は自分用に、味の良さを知りギフト用にとりピートしてくれるお客様もいらつしやいます」と評判は上々のようです。  
表年と裏年のある柿の特性で、毎年安定した収穫は望めずコンスタントな生産が難しいことが課題といえます。しかし、そもそも拡大路線は

考えていない様子の野崎氏。「ロット数の関係でスーパーやデパートなど他の店に卸すことはできませんが、南越前町の食材を使って、手作りやっていく、というこだわりは変えずにやっていきたいですね」と話します。安心・安全な地元志向のものがくりや他所にはない希少性などが際立ち、むしろ今の時代性に合った戦略といえそうです。



有限会社ほっと今庄  
http://hotimajo.jp/  
所在地：南条郡南越前町今庄9-13  
電話番号：0778-45-1144  
代表者：野崎 由美子氏  
事業内容：食品製造・販売、飲食業

◆その他飲食品部門  
ザウルスギフト



昆布を中心にさまざまな商品を展開する㈱奥井海生堂。ギフト商品として、白とろろ、昆布鮎、昆布ゼリー(リンゴ味)、椎茸入り塩昆布に、子どもに喜ばれる恐竜メモをプラスしたセットを商品化しました。恐竜柄の越前和紙でできた外箱にはCDを12枚収納できます。

1セット 1,674円(税込)

株式会社奥井海生堂  
敦賀市神楽町1-4-10  
Tel: 0770-22-0493

◆民芸品・キャラクター部門  
恐竜フェイスパック



福井県立恐竜博物館監修。フクイラプトルに“変身”できる美容液たっぷりのフェイスパックです。福井県産らっきょう由来の特許保湿成分フルクタン他、5つの美容成分を配合。インスタグラマーがアップするインパクト十分の使用姿が話題となり、人気を集めています。

1枚入り 486円(税込)  
2枚セット(化粧箱入り) 972円(税込)

株式会社エル・ローズ  
福井市三郎丸4-200  
Tel: 0776-27-3160

◆弁当・惣菜・麺類部門  
たいめん・さばめんセット



若狭を起点とする鯖街道に沿って伝統となっている鯛そうめん・鯖そうめんを、こんにゃく麺を使い、ヘルシーにアレンジした缶詰セット。常温保存が可能なのはもちろん、温めても冷やしてもおいしい他、ごはんとの相性も良くお惣菜や丼としても楽しめます。

各1個 150g 500円(税込)

小浜海産物株式会社  
小浜市川崎2-1-1  
Tel: 0120-17-3747

◆民芸品・キャラクター部門  
『福』の居る街 福井からお届けする日本の縁起柄コースター



伝統的工芸品「越前筆筒」を継承しながら、独自に培った技術を加えることで現代のライフスタイルに則した新しい商品を創り出す小柳タンス店。四代目による木製コースターは、中央の「福」の字を「井」で囲い、「福」が逃げないようにと願いが込められた縁起の良い商品です。

1枚 1,080円(税込)

小柳タンス店 (kicoru)  
越前市武生柳町10-7  
Tel: 0778-22-1854

◆弁当・惣菜・麺類部門  
若廣 醤油かおる焼き鯖すし



味の決め手となる大葉とガリはそのままに、若狭小浜伝統の醤油漬けで仕上げた焼き鯖すし。みりん干しのように甘くはなく、塩干しと比べて旨味成分が豊富な、食欲をそそる醤油の香ばしい香り特徴です。1本1本職人の手巻きにより作られています。

1本8貫入り 1,188円(税込)

株式会社若廣  
小浜市川崎1-3-5  
Tel: 0770-53-3844

◆その他飲食品部門  
PURE RICE WINE



コシヒカリ発祥の地、福井県産コシヒカリ100%使用。ワイン酵母との組み合わせで、甘さと酸味が一体となった、日本酒の新たな可能性を感じる新ジャンルが誕生しました。洗練されたラベルも商品価値を高めるポイント。30代~50代の女性をターゲットに開発されました。

1本 1,296円(税込)

田嶋酒造株式会社  
福井市桃園1-3-10  
Tel: 0776-36-3385

◆菓子部門  
越前塩羽二重餅



越前海岸の海水から職人が作る「越前塩」は甘味と旨味を持った自然塩。この越前塩を福井銘菓羽二重餅に練りこみ、柔らかな塩スイーツに仕上げたお菓子です。うまみ塩味が羽二重餅の甘さを引き立てます。

1箱9個入り 540円(税込)

亀屋製菓株式会社  
福井市森田新保町1-1-1  
Tel: 0776-56-1200

◆菓子部門  
福井Ume-Naプリン



一流の自然素材にこだわった数々のプリン・ゼリーが全国的に人気となっているメゾン・ド・レトワール。同店が福井のお土産の定番を目指し、1年以上の試行錯誤の末に完成させました。福井梅のジュレの爽やかな甘酸っぱさと、プリン濃厚な甘みが調和した新感覚の美味しさです。

1箱4個入り 1,482円(税込)

株式会社ルクールエイトプラス  
(店舗名:メゾン・ド・レトワール)  
鯖江市桜町3丁目3-3-301  
Tel: 0778-53-1660

◆国体・障スポ部門  
蒔絵ボールペン



1400年の歴史ある伝統的工芸品「越前漆器」を守る、宮内庁御用達の確かな技術を誇る老舗丸山久右衛門商店が、2018年に開催される福井国体・障スポのために製作した漆塗のボールペン。伝統的蒔絵の技法を使い、大会マスコット「はぴりゅう」を描いた逸品です。

1本 2,700円(税込)

株式会社丸山久右衛門商店  
鯖江市河和田町21-4  
Tel: 0778-65-0011

第9回 福井県優良観光土産品  
優秀賞受賞商品 ダイジェスト紹介



1/19~2/8に福井県のアンテナショップ「ふくい南青山291」で、同賞受賞商品の展示即売会が開催されました。その様子とお土産開発のワンポイントについてコメントをいただきました。

ふくい南青山291館長 兼 統括マネージャー  
石橋 由起男 氏

今回初めて優良観光土産品受賞商品展示・即売会を実施しましたが、お客様の反応が思った以上に良かった、というのが率直な感想です。それは用意していたチラシが、全く足りなくなってしまうことにも表れていると思います。やはり“受賞商品”という点が、お客様の視線に触れたのだと思います。中でもよく売れた商品に共通することは、もの珍しさや希少性があること。そして、積極的に試食販売をしていただいたことが好結果の要因と考えます。店頭での試食・試飲販売の効果は絶大です。

ふくい南青山291のお客様は富裕層が多く、価格よりも品質・生産地に非常に敏感です。価格訴求ではナショナルブランドにかなうはずもなく、しっかりとしたバックボーンに裏打ちされた品質が重要と考えます。それは、お土産品においても同様なのではないでしょうか。その上で、お土産品を含めた商品開発において、都会のお客様への販売を意識するならば、なるべくパッケージは小さく、個包装であることが重要だと思います。これからも、アンテナショップでの販売を通して、県内事業者様へのフィードバックをしていきたいと考えています。

詳しくはこちら



福井県の観光情報を全国に向けて発信・PRする観光情報HPです。  
<お問い合わせ>

公益社団法人 福井県観光連盟  
福井市松本3丁目16-10  
TEL: 0776-23-3677

※優秀賞受賞商品の中から、ふくい産業支援センターの事業を活かした企業・団体の商品をピックアップしてご紹介しています。

～この人にお聞きしました～



内田 徹氏  
株式会社漆琳堂  
専務取締役

1793年（寛政5年）創業の漆器製造・販売の同社8代目。自社ブランド「aisomo cosomo」の立ち上げや直営店のオープンなど、伝統に新しい感性を吹き込む。県外出身の女性の若手職人も活躍中（写真）。

## “産業観光”で産地に若者を 工房開放・ものづくり体験が人を呼ぶ

観光を語るキーワードの一つである産業観光。産業文化財や産業製品を通じて、ものづくりの心にふれることを目的とした観光です。漆器の産地である鯖江市河和田地区では3年前から年に一度、工房開放&体験型マーケット『RENEW』を開催しています。昨年10月には、イベントの趣旨に賛同した丹南エリアの他のものづくり産地も一丸となり、4日間の期間中に全国から42,000人が訪れる一大イベントに成長しています。産地が主体の同イベント。実行委員の中心メンバーの一人である株式会社漆琳堂8代目、内田徹氏にイベントへの想いや裏話をインタビューしました。

### —今回も大盛況でしたね。体験ワークショップはいかがでしたか？

2年前のRENEWには2,000人が来てくれました。人口4,400人程の河和田ですから、それでも人でいっぱい、大成功！と思っていたのですが、昨年は42,000人に増えました。全国に展開する鞆中川政七商店（奈良県）の共催が実現したことや参加エリアが丹南全体に広がったとはいえ、この来場数には驚きましたね。今回はRENEWの一つのコンテンツとして「福井クラフトツーリズム」と題し、越前漆器以外の産地からも29社がイベントに共感し、ものづくりワークショップなどの体験メニューを準備し、参加していただきました。

当社でも拭き漆でコップを仕上げるワークショップをしました。親子連れや若い方が多かったですね。予約制にしてじっくり取り組んでいただきました。普段の仕事では、こんなにゆっくとエンドユーザーの方と触れ合うことはありません。問屋づくりにしか入ってこなかった「こんなのが欲しい」「ここが面白い」という声を直接聞けることは、こういったイベントならではのメリットですね。高額の展示料を払って展示会に出展するよりいいかもしれないと思うくらいです（笑）。

### —準備のご苦労もあるかと思いますが、始めたきっかけは？

ものづくりの産地が工房開放する動きは全国的にも増えてきていますが、河和田では一歩早い段階で始めました。他県の産地のように県や市の補助金でやるのではなく、RENEWは参加企業の自腹の出展料で運営しています。協賛金を集めるのはもちろん、会議も何度も行いますし、準備で仕事が止まることもあります。そりゃ相当大変ですよ（笑）。参加される1社1社が、本気でやる気がないとできないことだと思います。

何より「産地を元気にしたい」という気持ちが一番の

原動力ですね。ご存知のとおり、作り手がどんどん高齢化しています。若い担い手に来てもらわないと先はないと常々感じていました。若い人にもっと魅力を感じてもらうためには地元の人が輝いていないといけません。輝けるためのイベントがあれば、というのが発端です。リクルートにもつながればと、職人を募集している工房はその印として店頭で緑のフラッグを出すルールにし、移住や就職に興味のある人が話しやすい工夫もしました。RENEWの効果もあってか、河和田は67人（鯖江市調べ）の移住者が入ってきて産地を支えています。全国的にもとても恵まれている産地です。

### —周りの反響や、今後についてお聞かせください

「こんなと初めて見た！」「来年もまた来たい！」といった全国からの声や、アンケートに書かれていた「河和田がこんなに凄かったなんて知らなかったです」という地元の高校生からの言葉…、今思い出しても涙が出そうなくらい嬉しいです。

時代に合わせ、「たくさん作ってどう首都圏に売るか」から「ある特定のファンにどう伝えていくか」に考え方のポイントが変わってきていますが、今後もRENEWを通じてファンを増やしていきたいと思っています。河和田以外の各産地でも、イベントを引っ張るリーダー的な人が存在しています。彼らとも協力しながら、来年以降もさらに良いイベントにしていきたいですね。



RENEW 2018年は  
10/19・20・21  
開催決定！

## 福井クラフトツーリズム

丹南エリアの各ものづくり産地から  
29社が参加しました。



【眼鏡エリア】



【越前和紙エリア】



【越前箏篋エリア】



【越前打刃物エリア】



野村 明志氏

## 「産業観光・体験」

## 蔵を開放し醤油づくり体験を通し 老舗の魅力を伝える

野村醤油株式会社

大野市美濃街道沿いに明治から続く、老舗醤油醸造場の野村醤油株式会社。体験蔵「重右工門」と銘打ち、一昨年より蔵を開放して、醤油づくり体験を行っています。観光客を中心に2年間で約1,300名が体験し、好評を得ている様子。醤油づくり体験を始めた背景や今後の取り組みについて同社6代目、代表取締役の野村明志氏にお話を伺いました。

### 体験を通し強みをPR 顧客との距離も縮める

福井県内はもとより中京・関西地域といった県外から、ときには欧米やアジアなど海外からも、春から秋の期間中、同社には醤油づくり体験を目当てに多くの観光客が訪れます。食育への関心の高まりも追い風となり、特に親子連れでの予約が好調のようです。醤油の歴史や作り方の座学に始まり、樽入れと搾りを体験し、自分で描いたオリジナルラベルを貼ったボトルに絞られたの生醤油を詰めて完成といった一連のメニュー。野村氏が中心となり、工場長と5代目、7代目の4名で丁寧な体験者をもてなします。「小学校へ出向いての出前授業はこれまでもやってきましたが、体験はやはり現場が一番ですね。親御さんの方が真剣になってしまっただけで、楽しんでいただくには、楽しんでいただくには2つの背景があると語る野村氏は笑顔で話します。「蔵の開放を始めたのには2つの背景があると語る野村氏は残念ながら、醤油業界は昭和48年をピークにそれ以

降右肩下がりが続いています。直接お客様に販売ができる体制は取れないかと模索する中で、「体験」はずっとイメージとして持っていました。もう一つには、樽入れなどどこでしかできない体験を通して、麹づくりから醸造まで、しっかりとした醤油づくりをしていくうちの強みをPRしたいという想いもありました」。業界の中でも、麹づくりからもろみの仕込み、発酵の管理など全てを一貫して行う企業は今ではほんの一握り。日本特有の醸造技術を伝承したいという気持ちもあると野村氏は続けます。



醤油の香りに包まれながらの樽入れ体験。本年のスタートは3/21春分の日を予定しています。

そんな折、タイミング良く始まったふくい産業支援センターの「ふくいの老舗企業チャレンジ応援事業（初年度）」の採択を受け、金を活かして蔵を改装し、体験事業のスタートに頑張りました。

体験施設の整備と同時進行で、自社HPにもテコ入れをした野村氏。同社のこだわりや醤油づくり体験の流れを分かりやすく紹介し、そのまま申し込みもできるウェブサイトにまとめています。「旅行雑誌などに載せていただいた影響で、ピンポイントに当社を検索して来られる方が多いです。サイトもさらに良くして、恐竜博物館からの流れなどでお客様を引き寄せられたらいいですね」と誘客へのアンテナも高くなります。

### 点から線に 来訪者増加に備える

体の開催や新幹線開通にも期待を寄せる野村氏。「一つの点として大きくもしていきませんが、点から線になるように各方面と手を組んでいければ」と次の展開も語っていただきました。



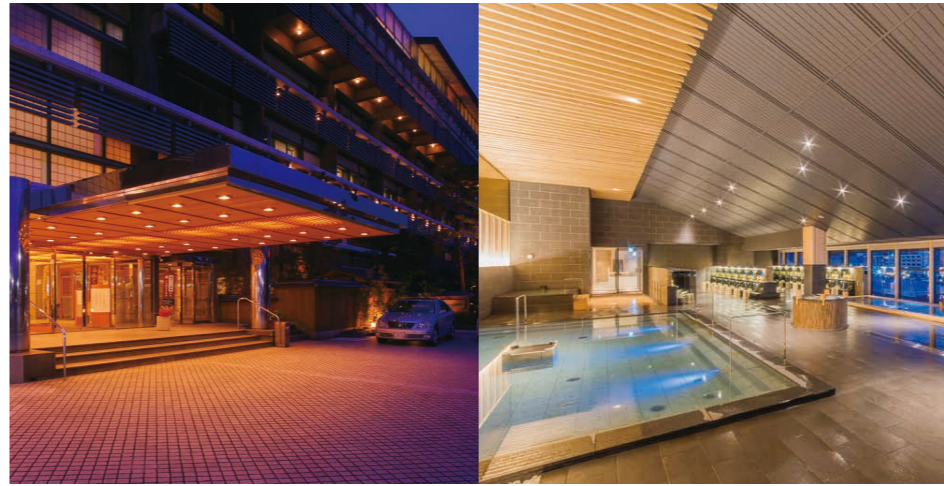
醤油づくり体験を伝えるHP。野村氏自身も多く登場し、安心感を与えます。

野村醤油株式会社  
http://nomura-syouyu.jp/  
所在地：大野市日吉町10-1  
電話番号：0779-66-2072  
代表者：野村 明志氏  
従業員数：7名  
事業内容：醤油味噌醸造



# 注目企業

ふくい産業支援センターの事業や施策を活かし、前向きにがんばる県内企業の取り組みをご紹介します



## 持続可能なビジネスモデルを目指す

### 株式会社グランディア芳泉

温泉街の宿として誕生し、郊外型の大型団体旅館から個人客を対象とした露天風呂付客室の充実へと、時代の流れにいち早く対応してきた株式会社グランディア芳泉。持続可能なビジネスモデルを目指し、2015年の北陸新幹線開業を機に、働き方改革に着手しました。従来の慣習を見直して無駄をなくすことで、業界では画期的な週休2日制を実現した取り組みと経緯を、代表取締役専務の山口賢司氏に伺いました。

#### 北陸新幹線開業を機に働き方改革に取り組み

人を増やさず、給与は下げず、週休2日制を実現し、残業時間は週に2時間程度。それでいて、サービスの質は落とさず、顧客満足度も向上し、利益率は10%アップ。社員の休日が少なく常に人手不足に悩まされる旅館業界で、同社の働き方改革は画期的なものとして全国的な注目を集めています。

「以前は、社員から『忙しすぎて笑顔で接客できない』『退職したい』という声を聞いて、いかに引き止めるかが仕事でした」と振り返る山口氏。「今のような働き方を続けていては未来はない。20年後も持続可能なビジネスモデルを構築するには、どういった切り口があるか」と模索します。そんなとき、観光庁

の無料オンライン講座「旅館経営教室」を見て、労働効率と顧客満足度向上は両立する」という考えに興味を抱きます。ちょうど北陸新幹線開業による業績アップが見込める時期で、「今なら社員も協力してくれる」と大胆な労働改革に着手。「ひとりがやれる仕事を徹底的に見直し、お客さまのサービスに直結しない無駄なものはやめる。ただやめることが目的ではなく、そこで生まれた余力をいかに品質の向上に振り分けるかが大事です」と語り

#### 業界の常識を排除したオペレーションに刷新

まず取り組んだのは、従来型のオペレーションの見直しです。そのひとつが、食事時間2部制の廃止でした。午後5時半から7時半からのどちらかの選択性だったものを、宿泊客の好きな時間に來てもらえるスタイルに変更。



#### 社員をマルチタスク化自己成長できる仕事

オペレーションを刷新するにあたり、山口氏が重視したのは「多様化」です。50年以上続く仲居さんの日給歩合制の奉仕給制度を廃止し、賃金制度を一元化。宴会、フロント、レストラン、料亭で分かれていた部署をサービス部に一本化し、ひとりの社員が複数の業務を掛け持ちするマルチタスク化に移行しました。これにより、「お客さまの予

約に応じてシフトを作り、当日、お客さまが集中する時間と場所に社員を適正に配置する」という現場コントロールが可能になりました。

休みが増えることで、「社内」の雰囲気は明るくなり、社員から効率化に関する意見やアイデアが出るようになった」と微笑む山口氏。整理・整頓・清掃・清潔・しつけの「5S」のノウハウを活用した厨房の配置や、朝食バイキングのお

客さま用トイレの廃止などもそのひとつです。「無駄を排して接客時間を増やそう、収益性を上げようと、自分で考えられる組織になってきました」と手応えを語ります。「休日を、自己啓発にあてる社員も多くなっています。接客する時間が増えるなかで、自分自身が感動ややりがいを感じ、自己成長できる仕事の仕方をしてほしいと思っています」。

株式会社グランディア芳泉  
https://www.g-housen.co.jp/  
所在地：あわら市舟津43-26  
電話番号：0776-77-2555  
代表者：山口 透氏  
資本金：1,000万円  
従業員数：119名（パート含む）  
事業内容：温泉旅館業



山口 賢司氏

「社員が食事開始の2時間前に出勤してレイアウト表を作成し、事前にセッティングする。一見効率的ですが、人数の変更などで表の組み替えやセッティングのやり直しが出ると、お客さまをお待たせするし、事前の準備が無駄になります」と語る山口氏。お客さまの目前でセッティングするようになったことで「接客時間が増え、よりきめ細やかなサービスができるようになりました」とメリットを語ります。続いて、それまで2〜3時間かかっていた予約確認の電話を廃止しました。どちらも、社員からは「一度に大勢のお客さまが来てしまうのでは」「連絡なしにキャンセルするお客さまがいたら」と不安の声があがったといいます。山口氏は、「1週間だけやってみよう。すべて俺が責任をとるから」と社員を説得。実際にやってみると、大きな混乱はありませんでした。「コロナブスの卵のようなもので、業界の常識や思い込みを排除することで先が見え始めました」。



#### 以前この事業をご利用いただきました

##### 企業診断・コンサルティング事業

県内の成長が期待される意欲的な企業に対して企業診断を実施し、改善の提案や導入支援を行うことで、効果的な経営革新の方向性を導き出し、優良企業となる基盤づくりをお手伝いします。

企業から企業診断を受託契約し、産業支援センターの職員（中小企業診断士等）が企業診断を実施します。診断後、継続的なフォローや改善提案の導入支援をご希望される企業については、継続的なコンサルティングも実施しています。料金等も含め、詳しい内容については、下記までお問合せください。

##### 【お問い合わせ】

(公財)ふくい産業支援センター  
ふるさと産業支援部 総合相談・コンサルグループ  
TEL：0776-67-7400 FAX：0776-67-7429

# 完成への道のり

商品はどのようなプロセスで完成されていくのか。企業によるアイデアの創出から新商品誕生までの開発ストーリーを紹介しします。

## 「人に優しい駐車場」づくりへ、 自社開発システムで貢献

### 株式会社ノーステック



宮村 親顯 氏



武田 純一 氏

#### 「利用者目線」に立ち システムの運用を設計

「ちよつと試しに作ってみようか」というくらいの動機で「同システムの試作が始まったのは約7年前。きっかけは、宮村氏がショッピングセンター（SC）の駐車場で見つけたある光景でした。

「SCなどのHF駐車場では、不正駐車を防ぐためにカラーコーンを立ててあるケースが少なくありません。しかしこれでは、利用時にわざわざコーンを動かさないとはいけない。実際に車椅子の方が移動されているのを見て、煩わしい思いをされているのではと感じたんです」

コーンの代わりにフラップ板などのロック装置で不正駐車を防ぐ方策も考えられます

が、車に傷を付いたり利用者がケガをしたりしないような仕組みを作ることはできないか——「おもいやりパーキング」はそうした「利用者目線」の考えに基づいています。

現在、福井市大和田にあるSC「フェアモール福井」で運用中の同システムは3代目。利用者が所定の位置に入庫すると埋め込み式のロック板が跳ね上がり、身体障害者手帳などの証明書をサービスカウンターで見せることで車止め解除用の専用コインを受け取る仕組みになっています。

#### 除雪時のアクセシビリティ受け 機器の構造や材質を改良

初代、2代と試行錯誤しながら現システムに至った経緯

について武田氏はこう振り返ります。

「最初はロック板がゴム板で、可動部も現在のようないれ込み式でなく地上設置の電動式でした。路面から車体下部までの標準の最低車高を踏まえて設計したのですが、ゴム板が上がったままで車を出し入れされたり、可動部がさびて動かなくなったり、冬季の除雪で機械ごとシヨベルカーにさらわれたりしまして……」

数々の苦い経験を基に改良を重ねた同システム。3代目では可動部を空気式にしたり、バネ状の芯とターポリン生地（テント地）を組み合わせたロック板を採用するなどして柔軟性と耐久性を両立しています。「ロック装置など駐車場向け機器は関東圏の企

#### 株式会社ノーステック

<http://www.n-tecl.co.jp/>

所在地：福井県福井市和田2-904

電話番号：0776-28-1006

代表者：細川 式部 氏

資本金：6,400万円

従業員数：12名

事業内容：駐車（輪）場関連機器設計制作販売、  
駐車（輪）場関連メンテナンス、産業  
機器設計制作販売等

業が作ったものが多い」（宮村氏）という中、除雪時のアクセシビリティなどを基に改良を重ねた同システムは雪国の企業ならではのものといえそうです。

フェアモール福井駐車場の運用開始から約6年。利用者からどのような感想が寄せられているのか、武田氏に伺いました。

「車椅子で来店される方な



幾度の改良を重ね今の形となった「おもいやりパーキング」。利用者視点に立ったシステムが多くの人に喜ばれています。

ど、本来のご利用者にとって『停めたい場所が空いている』という安心感につながっているようです。不正駐車で車室が埋まっていたりすると離れた場所でも降りしなければならず、場合によっては車椅子スペースとして2車室分を確保する必要もありますから」

#### 「身障者対応は4段階で」 提案型のビジネスを展開

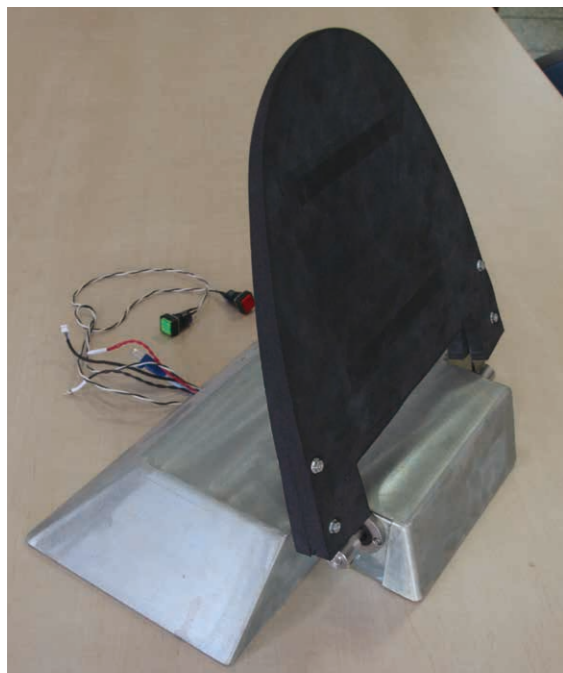
HF駐車場利用者の視点に立って開発した同システム。今秋開催の「福井しあわせ元気国体・障スポ」や、202

0年の東京パラリンピックなどを商機として捉えているのでしようか。

「当社では、駐車場における身体障害者などへの対応を4段階で考えています。第一に、車椅子での乗り降りに無理がないようHF駐車場の車室幅を十分に確保する。第二に、車室に障害者のための国際シンボルマークを描く。第三に、車室に分かりやすい色を塗る。まず三つの対応をさせていただき、それでも不正駐車が絶えない場合に「おもいやりパーキング」の出番になるのではと」

駐車場運営をトータルプロ

デュースする企業として、機器ありきの提案はしないと話す武田氏は、「利己でなく利他の心で動く社風が根底にあります。新しい機器も『作ったらどこかに売れるだろう』くらいの構えで考えていますね」とも。宮村氏も「駐車場の機器はカスタムメイドが大半で、お客さまのご要望が新たな取り組みのヒントにつながるような場面も多々あります。開発側としても『工夫を重ねて新しい機器が来た』という達成感が次に向かう原動力になっているんですよ」と笑顔を見せます。



初代の試作品。現在とは違う置き型のタイプでした。



合同プレゼンテーション会（H29年度第1回）に参加された様子。プレスの前でシステムをプレゼンテーションしました。



実はこんなことしてるんです

# 産業情報センター 入門

Fukui Industrial Information Center

ふくい産業支援センターの6階～8階は入居施設があり、現在27社の企業・団体が利用しています。今回は、インキュベートルーム（創業5年以内のITベンチャー企業が入居できる施設）に入居し、川釣り便利アプリ「フィッシュパス」の開発・販売に取り組んでいる株式会社フィッシュパスの西村弘社長にお話を伺いました。

1分でわかる!!

## 株式会社フィッシュパス



川釣りをテーマにしたスマホ・タブレット用のアプリ「フィッシュパス」を開発し、遊漁券のオンライン販売を軸に、地域の活性化と環境保全の両立を目指した事業を立ち上げたITベンチャー企業です。そのユニークなビジネスモデルが話題を呼び、全国の漁協から問い合わせが殺到しているとともに、県内外の自治体からも地域活性化のツールとして熱い視線が注がれています。  
<https://www.fishpass.co.jp/>

- Q** 入居するきっかけを教えてください
- A** フィッシュパスのビジネスプランを事業化するにあたって以前から産業支援センターには相談にきていたのですが、システム構築をセンターに入居している(株)システムエルフさんをお願いすることになったこともあって、しました。
- Q** 入居していかがでしたか?
- A** 大変良かったです。もちろん、システムエルフさんとの打ち合わせに便利だということもあるのです

# 苦手意識克服！ 脱ITオンチ経営

分かっているつもりで分からないことの多いIT。経営に不可欠なITを毎回違った切り口で紹介、解説します。今回のテーマは、「仮想通貨」です。

## 注目される仮想通貨

今年2月、仮想通貨取引所大手「コインチェック」から580億円相当の「NEM」(仮想通貨の種類のひとつ)の流出問題が大きく報道されたことにより、「仮想通貨」は衆目を集めるようになりました。

ただし、日本においては、急激な値動きや投資・投機的な側面ばかりが強調され、仮想通貨のそれ以外の価値(本質的な価値と言いますが)である「通貨」としての側面には全くといって良いほど報道されていません。そのため、日本においては、多くの方が、仮想通貨を先物取引やFX取引と同列の一種の金融商品とらえられることが多いようです。

## IT音痴でもわかる 仮想通貨



## 仮想通貨とは何か

平成29年4月に施行された改正資金決済法のなかで仮想通貨は、①不特定の人を相手に代金決済に利用でき、法定通貨(円やドル)と交換できる②電子的に記録され移動できる③法定通貨や法定通貨建ての資産(プリペイドカード)ではないもの、と定義されています。少し単純化して言うと、仮想通貨は「インターネット上で自由にやり取りできる通貨の機能をもった電子データ」ということで、いわば円やドルなどと同じ、れっきとしたお金(通貨)です。

なお、紛らわしいワードに「電子マネー」があります。「マネー」というくらいだからお金じゃないの?と思われる方もいるかもしれませんが、電子マネーは、(日本であれば)基本的に「円」での支払いを便利にするためのもので「通貨」ではありません。両者はまったく違うものなのです。

## 従来の通貨との違い

「通貨」は紙幣や硬貨として毎日利用しているとても身近な存在です。日本では「円」です。「円」は、日本国が国家として運営し、日本銀行が発行しています。同じように考えてみると、

仮想通貨はどうか?仮想通貨には、日本(国家)のような管理主体が存在しません。どの国にも属さない「共通通貨」として存在しているのです。仮想通貨は、「ブロックチェーン」等の技術に基づいて作成したプログラムがあれば、ネットから誰でも運営に参加することができると言えます。

## 仮想通貨の種類

仮想通貨は「仮想通貨」というひとつの通貨ではなく、多くの種類が存在しています。これらは「円」や「ドル」にあたるものです。

もっとも大きなシェアを持つているのが、世界で初めに作られた「ビットコイン(通貨単位:BTC)」で、その他にも「イーサリアム(ETH)」「リップル(XRP)」「ライトコイン(LTC)」などがあります。その他、コインチェック問題で流出した「ネム(NEM)」や、ユニークなものでは掲示板サイト「2ちゃんねる」内のユーザー同士で送金することを目的にユーザーが開発したといわれる「モナコイン(MONA)」などもあります。現在では1500種類以上あり、今もなお増え続けています。

## 仮想通貨の可能性

仮想通貨は、特定の管理者が存在しないことが特徴ですが、そのため決済や送金にかかる手数料が従来の通貨と比べ格段に安くなるというメリットがあります。また、ネットを介して世界中の誰とでも自由にやり取りができます。こういった仮想通貨の特性とインターネットテクノロジーが融合することによって革新的な仕組みやサービスを産み出す可能性があると期待されており、地域通貨としての活用や海外観光客の決済手段としても期待が高まっています。

仮想通貨には、多くの課題があることも事実ですが、新しいビジネスにつながる可能性も秘めています。仮想通貨投資という固定観念から抜け出し、イノベーションを生み出したものが商機を得る、今はそんな時代の分水嶺にあるのでしょうか。

## IT研修や無料相談のお問い合わせ先

(公財)ふくい産業支援センター 販路開拓支援部  
創業・Eビジネス支援グループ  
TEL 0776-67-7411

## 【インキュベートルーム】

～IT系創業者支援オフィスをご利用ください～

インキュベートルームは、IT関連事業で創業する起業者のために最適なオフィス環境を提供しています。随時見学も可能ですのでご興味のある方はお気軽にお問い合わせください。



お問い合わせ先 (公財)ふくい産業支援センター 販路開拓支援部 創業・Eビジネス支援グループ  
TEL 0776-67-7416 <http://www.fukui-iic.or.jp/office/>

# GOOD DESIGN

2017年度グッドデザイン賞／サカセ化学工業株式会社  
救急カート [サカセ ハーモプラス システム 救急カート]



「救急カート」は、医療施設内において、緊急性を要求される患者のもとへ、第1処置に必要な医薬品や機材、医療材料などを直ちに効率よく収納、搬送することで救命処置と医療業務に貢献できる、機能性と利便性に加え、デザイン性を兼ね備えたカートです。引出しは、用途に合わせて仕切板やインナートレーで仕切れます。大型の名札は、視認性と安全性を向上、薬液や血液が直接付着しないようフルカバーされ衛生的で安心です。また、医療安全の観点から引出しを施錠できます。

## 【DATA】

- プロデューサー サカセ化学工業(株) 代表取締役社長 酒井 哲夫
- ディレクター 同社 企画開発本部 開発部 橋本 崇
- デザイナー 同社 企画開発本部 開発部 橋本 崇
- 発売 2017年5月
- 価格 351,200 ~ 429,800円 (税抜)

医療施設用搬送カートおよび作業テーブル

[サカセハーモプラス システム プレミアム ナーシングカート ナーシングテーブル]



「ナーシングカート」と「ナーシングテーブル」は、医療用品を収納するキャビネットを含めたトータルシステムとして運用することで医療業務の効率化に貢献できる、機能性と利便性、インテリア性を兼ね備えた収納・搬送機器です。ナーシングカートはトップテーブルを必要に応じて昇降させることができ、また、豊富なオプションにより用途に合わせたカスタマイズが可能です。更に共通のトレーを使ったキャビネットと連動することで、看護業務の負担を軽減することができます。ナーシングカートのピットステーションとしての役割も持つナーシングテーブルは、看護スタッフの業務内容や体格に応じ天板の高さを昇降させることができます。

サカセ製キャビネットとの「トレーの互換性」をはじめ、カートのピット機能を備え、さらにカートを収納できるテーブルや、搭載されるトレーがサカセ製キャビネットと互換性を持ち連動して使用できることは、病院運営上、非常に重要視される点です。

## 【DATA】

- プロデューサー サカセ化学工業(株) 代表取締役社長 酒井 哲夫
- ディレクター 同社 企画開発本部 開発部 橋本 崇
- デザイナー (株)ハーズ実験デザイン研究所 代表取締役 村田 智明
- 発売 2017年5月
- 価格 119,800 ~ 475,000円 (税抜)

第18回

# グッドデザインシンキング

福井県のグッドデザインを紹介

第6回

## 研修効果を高めるために ～企業に求められる支援～

前回は、研修効果を高める重要な取り組みについて、受講者の立場から考えました。

今回は、研修後の受講者（社員）の行動を成長につなげ組織の力にするために、企業に求められる支援について考えます。

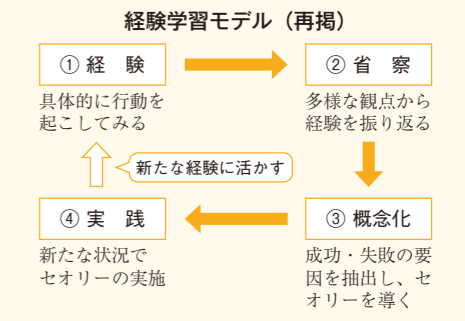
### 経験学習を通して社員をサポート

レポートなど、受講報告書の提出を義務付けているものの、その後のフォローアップまで行っている企業は多くありません。研修と人材育成をしっかり結びつけ成果を出すには、社員の「経験学習」に積極的に関わり、行動を把握して、状況に応じたサポートを行うことが求められます。

ここでは、研修後の支援におけるプロセスの一例をご紹介します。

まず上位職者は、研修で学んだことや行動目標について必ず報告を受け、作成した「行動計画」の摺合せをします。そして日常的にはOJTで、状況によっては、個人の強みや課題を考慮したチャレンジングな仕事も用意して「①経験」の場を与えます。「②省察」の段階では、社員と一緒に経験を振り返ります。効果的な振り返りの方法のひとつに、社員と上司による面談があります。対話を通じて気付きを引き出すとともに、失敗・成功の要因から一緒になって教訓を導き出し（「③概念化」）、新しい状況に適用（「④実践」）していきます。成長を支援する姿勢を示すこともモチベーションの維持向上には欠かせません。

チーム単位で振り返りを行うのも効果的に効果が得られます。例えば、定期的に勉強会を開き、経験から学んだことを



共有して行くのも良いでしょう。上司だけでなく他のメンバーからもフィードバックを受け、メンバー間のコミュニケーションを深めることでチーム活動に弾みがつくことも期待できます。その中で「省察」や「概念化」の価値や効果を理解することで自然にスキルが身に付くようになります。

このように、研修での学びを効果的に発揮させるには、「働く現場における取り組み」が欠かせません。「学習モデル」のサイクルを回す習慣を積極的に支援し、高い学習効果を実現することは、人材の能力向上に欠かせない取り組みだと言えます。

## 4月・5月開催の研修 募集中!

分野	研修日	研修名	研修概要	受講料(税込)
新入社員向け	4/12・13、10/10 (3日間)	新社会人のための仕事の基本を学ぶ講座	社会人としての心構え・マナー・コミュニケーションの基本を習得 (半年後のフォローアップあり)	36,000円
	4/10	新入社員が知っておくべき「モノづくり現場」の基礎知識	製造現場に求められる役割・基礎知識を学ぶ新入社員向けの基礎講座	18,000円
図面	4/11	図面の読み方基礎講座	初めて図面を見る方でも理解できるよう、JISに基づく図面のルールを、立体モデルを使いながらわかりやすく解説する	18,000円
	4/27	図面の描き方基礎講座	図面の描き方を、日本工業規格(JIS)の製図法の規定に則り、初心者の方にも理解できるよう演習を繰り返しながらわかりやすく学ぶ	3,000円
生産管理	5/10・11 (2日間)	生産管理の基本と改善ポイント	生産活動とその仕組みを理解し、管理の仕組み作りを演習を交えながら習得	32,000円
繊維	5/8・10・15・17・22・24・29 (7日間)	テキスタイル製造の基礎	繊維製造の一連の工程についてマーケティングも含めた幅広い基礎知識を習得	36,000円

中産大では平成30年度も幅広い内容の研修を揃えました。研修の詳細はホームページやガイドブックで確認できます。是非、社員教育に中産大の研修をご活用ください。

※ガイドブックをご希望の方はご連絡ください。希望部数を送付します。



### 【問い合わせ先】

(公財)ふくい産業支援センター  
人材育成部 (中小企業産業大学校)  
電話：0776-41-3775 メール：manabi@fisc.jp

研修の詳細は  
ホームページをご覧ください

中産大  検索



**日本最大級の開発コンテストの入賞作品+あの大手IT企業が福井にやってくる！**  
 今回は1/400の確率で最優秀賞に輝いた作品「GROOVE v2.0」をはじめとし、優秀賞・企業賞に輝いた作品の開発者が一同に集結。開発秘話やコアとなるアイデアなどについてお話いただく機会を得ました。ちょっとしたアイデアが、結果を大きく変えるITの世界。入賞作品を事例としてアイデアの種をご紹介します。

**参加無料**

詳細・お申込みはコチラ  
[www.fisc.jp/it/](http://www.fisc.jp/it/)

- 定員** 80名
  - 主催** (公財)ふくい産業支援センター
  - 共催** Mashup Awards運営事務局、ふくもく会
  - 協力** ソフトバンクロボティクス株式会社、LINE株式会社、ユニティ・テクノロジーズ・ジャパン合同会社
  - 対象** 県内外のクリエイター（エンジニア・デザイナーなど）およびそれを目指す学生
- ※17:30より交流会を実施（参加には別途500円が必要です）

## Pepper 活用セミナー

AI・ロボティクス分野のスペシャリストを講師に迎え、人型ロボット「Pepper」を題材に最新ITセミナーを開催。Pepperのコンセプトや特徴といった基礎知識から実際のビジネス活用事例を学ぶ無料セミナーと、Pepperの機能を応用したプログラミングを学ぶプログラミング講座を2本立てで開催します。

**無料セミナー**

- テーマ** Pepper 活用の可能性～実機による体験と活用事例の紹介～
- 日時** 平成30年3月4日(日) 10:00～12:00
- 会場** 福井県産業情報センタービル 2F 会議室AB
- 対象** 最新のIoTやAI技術、Pepperに興味のある方
- 参加料** 無料 **定員** 30名
- 内容** ①Pepper活用の可能性&事例紹介と解説（講義&デモ）  
 ②Pepperをどう活用するか（ディスカッション）



詳細・お申込みはコチラ  
[www.fisc.jp/it/](http://www.fisc.jp/it/)

**有料講座**

- テーマ** Pepperを活用したロボットプログラミング
- 日時** 平成30年3月4日(日) 13:30～16:30
- 会場** 福井県産業情報センタービル 2F 会議室AB
- 対象** Pepperを利用したロボットアプリ開発を体験したい方  
 PepperとGoogle Cloud Platformを組み合わせた開発に興味がある方
- 参加料** 2,600円 **定員** 12名

お問い合わせ 公益財団法人ふくい産業支援センター 販路開拓支援部 創業・Eビジネス支援グループ  
 電話：0776-67-7411（直通）

# 総合相談窓口では経営相談のほか、補助金申請・事業計画のブラッシュアップなどのお手伝いもしています！



IT分野の中でも社内システムに関することはお任せください！「今使っているシステムに不満がある」、「システム導入で業務を効率化したい」そんなお悩みのある方は是非ご相談にいらしてください。1社1社に合わせて使い勝手を重視した提案をさせていただきます。

県内製造業での営業の経験と、「福井ものづくり改善インストラクタースクール」で養った知識を活かし、現場改善から販売まで「ものづくり」をトータルにご支援します！生産計画の組み直しやリードタイムの短縮など、具体的な実績につながる提案をいたします。

**松田 博史** コーディネーター  
 ブイコンサルティング 代表  
**【得意分野】**  
 ・生産性、収益性の改善支援  
 ・製造業の現場改善の提案  
 ・ブランディング、マーケティング手法の提案

**北島 宏樹** コーディネーター  
 合同会社システムなんでもサポート CEO（最高経営責任者）  
**【専門分野】**  
 ・ITソリューション提案  
 ・社内システム導入の指導  
 ・業務データによる経営分析の指導

## 僕たちコーディネーターにお任せを！

### 今月のTOPICS

事業規模1,000億円（H29年度補正予算案額）  
**ものづくり・商業・サービス経営力向上支援事業（通称「もの補助」）**  
 の申請受付が間もなく始まる予定です！  
**お早めにご相談ください。**

平成29年度補正予算「ものづくり・商業・サービス経営力向上支援事業」は、中小企業・小規模事業者が、認定支援機関と連携して、生産性向上に資する革新的サービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を行うための設備投資等を支援する補助金です。

- 1. 企業間データ活用型（補助上限額：1,000万円/者\*、補助率2/3）**  
 複数の中小企業・小規模事業者が、事業者間でデータ・情報を共有し、連携体全体として新たな付加価値の創造や生産性の向上を図るプロジェクトを支援します。  
 ※連携体は10者まで。さらに200万円×連携体参加数を上限額に連携体内で配分可能
- 2. 一般型（補助上限額：1,000万円、補助率1/2）\***  
 中小企業・小規模事業者が行う革新的なサービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善に必要な設備投資等を支援します。  
 ※平成30年通常国会提出予定の生産性向上の実現のための臨時措置法（仮称）に基づく先端設備等導入計画（仮称）の認定又は経営革新計画の承認を取得して一定の要件を満たす者は、補助率2/3
- 3. 小規模型（補助上限額：500万円、補助率：小規模事業者2/3、その他1/2）**  
 小規模な額で中小企業・小規模事業者が行う革新的なサービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を支援します。（設備投資を伴わない試作開発等も支援）

お問い合わせ	<b>【嶺北】</b> 北島CDの当番日 3/5(月)、3/19(月) <b>【嶺南】</b> 松田CDの当番 3/8(木)、3/22(木) ご相談の予約、お問合せはこちらまで ※別の相談日をご希望の場合も、まずは下記にお問合せください。 嶺北：福井県産業情報センター3F 総合相談窓口 嶺南：アクアトム2F サテライトオフィス TEL：0776-67-7400
--------	--

本誌「F-ACT(ファクト)」を活用して会社をPRしよう!

## 企業情報メール便

販路開拓のチャンス!  
本誌にチラシを同封できます

本誌では、企業情報メール便(チラシ同封サービス)を毎号実施いたします。配送先は、県内事業所約1,700社です。この機会に、貴社の商品・サービスを幅広く紹介しませんか?



### ●料金

同封するチラシ・パンフレットのサイズ	料金(税込)
A4判以下のチラシ	6,480円
A4判超～A3判以下のチラシ (二つ折にしてA4判以下のサイズにすること)	9,720円
A4判以下のパンフレット(10ページ程度まで) ※チラシ・パンフレット1種類当たり1回分の同封料金です。	12,960円

### ●次回実施号

VOL.30 4月25日発行予定  
チラシ提出締切日: 4月18日(水)  
チラシ1,700部をご提出  
(持参または配送) ください。

ご利用を検討の方は、事前に、電話または電子メールにてご連絡ください。

1号につき約10社まで受け付けます。

なお、申込状況および掲載内容によりお断りする場合があります。

お問い合わせ先

(公財)ふくい産業支援センター 総務部 F-ACT編集室  
TEL: 0776-67-7414 e-mail: kouhou-g@fisc.jp

## 自動車税は名義人に課税します

自動車税は、自動車検査証の記載に基づき課税されます。

### ●3月中に車検証の変更をしないと 自動車税が課税されます

#### ●自動車を下取りに出したら? ⇒「名義変更」

#### ●自動車を廃車したら? ⇒「抹消登録」

手続がされていないと、すでに自動車が手元になくても自動車税が引き続き課税されます。

#### ●住所が変わったら? ⇒「変更登録」

手続がされていないと、自動車税の納税通知書が元の住所に発送されてしまいます。変更登録が間に合わない場合は、以下の問い合わせ先に連絡するか、電子申請「ふくe-ねっと」から自動車税住所変更届の提出をお願いします。

問い合わせ先

福井県税事務所 0776-21-8274  
嶺南振興局税務部 0770-56-2223

本誌に関するお問い合わせは



公益財団法人 ふくい産業支援センター <http://www.fisc.jp/>  
総務部 TEL:0776-67-7414/FAX:0776-67-7419/E-mail:kouhou-g@fisc.jp  
〒910-0296 福井県坂井市丸岡町熊堂第3号7番地1-16 (福井県産業情報センタービル内)

皆様の声をお聞かせ下さい!

「〇〇が面白かった、ためになった」、「△△をもう少し□□にしたらどうか」、「●●のテーマについて紹介して欲しい」、「▲▲会社がやっている■について取り上げて欲しい」など、本誌を読んだ感想や、要望など、皆様のご意見をお待ちしております。

## 編集後記

今回の特集では、観光視点でのビジネス展開を模索していきました。「地域資源」、「お土産品開発」、「産業観光・体験」の3つにフォーカスし、取り組みを行う経営者等にお話を伺ってまいりました。冒頭で県立大学の江川誠氏が話されていたように、観光に関するビジネスのすそ野は広く、一見するとかけ離れているような業種であってもチャンスとなることが考えられます。また、RENEWの成功談など、一企業では難しいことであっても、他の企業や地域全体で連携することで大きな力になることもインタビューを通して感じる事ができました。福井にとって、今後の数年は交流人口の増加が見込まれる絶好の機会といえます。ぜひ一度、「観光視点」で事業を見直してみたいかがでしょうか。

さて、今年度も最後の号になりました。4月発行の次号からは新たな連載コーナーも企画中です。ご協力いただいた読者アンケートの結果も踏まえ、さらにお役に立つ情報発信に努めさせていただきます。次年度以降もご愛読のほど、よろしく願いいたします。

## 新聞記事から集めた 県内企業の 新商品・新規事業

■収集期間: 平成29年12月1日～30年1月31日

■収集対象: 福井新聞、日刊県民福井、日本経済新聞、朝日新聞、毎日新聞、読売新聞

当支援センターが収集している新聞記事の中から、県内企業の新商品・新規事業に関する記事をピックアップしました。

【食品・飲料】	
県内の大学生が同社と協力して造った純米大吟醸「福の愉」が完成し披露された。同社の白龍をベースに酒米の山田錦を使用し、やや甘口でフルーティーな飲みやすい味に仕上げた。	吉田酒造 (永平寺町)
みそ製造の同社は、自家製みそをフリーズドライ加工した「老舗の味わい おみそ汁」を、ダイドードリンコと共同開発した。即席食品ながら、みそ本来の味わいと香りがあるのが特長。ダイドードリンコからの提案で商品化した。	マルカワみそ (越前市)
永平寺町観光協会は同社の吟醸酒かすを使った水ようかんを開発、同町のえい坊館で提供を始めた。酒かすのほか寒天を使いヘルシー志向に対応。見た目も通常の水ようかんとは異なり真っ白に仕上がっている。	田邊酒造 (永平寺町)
菓子メーカーの同社は、羽二重餅をサブレ生地で包んだ商品「絹小町」を開発、発売した。一般的なサブレとは異なる柔らかな食感と舌触りが特徴。県内の土産店や大都市圏の百貨店の催事を中心に扱う。	新珠製菓 (越前市)
【繊維/衣服】	
反射材製造販売の同社は、JAFと共同展開する反射材入りアパレルブランド「Hikari」で、ファッションデザイナー田山淳朗氏とコラボレーションしたコートを開発し、JAFの通販サイトで販売を始めた。	丸仁 (福井市)
受験シーズンが本格化するのを前に、総合商社の同社が合格祈願の靴下とキーホルダーを製作した。指部分が二股になった足袋状の女性向け靴下で、ピクトリーのVの字を表した。	アトラス (勝山市)
【金属/機械】	
ワイヤカット加工の同社は、IoTに対応したワイヤカット機を1台導入し、3月をメドに既存の10台にも対応を広げる。生産状況「見える化」し、全体で生産性を1割程度向上させたい考えだ。投資額の一部は県の補助金で賄う。	大成精工 (鯖江市)
【眼鏡】	
眼鏡用プラスチックレンズ製造の同社は、超高屈折率の調光レンズを開発した。材料や製法を工夫し、色が消える速度や太陽光に対する耐久性など付加価値も高めた。調光レンズを自社で開発したのは国内メーカーでは初めて。	アサヒオプティカル (鯖江市)
眼鏡フレームのロゴ加工の同社は、フレーム素材のアセテートを使ったペアキーホルダーを商品化し、販売を始める。さまざまな柄のアセテートをハートと矢の形に切り出し、続き絵柄にしたのが特徴。	吉岡ロゴテック (福井市)
眼鏡枠企画販売の同社は、本社に隣接した直営店兼ミュージアムを開発した。洗練されたデザインの商品群に加え、主力ブランドの歴史や鯖江の眼鏡の高い品質、技術力を発信する。県内外からの誘客に努める考えだ。	ポストクラブ (鯖江市)
【化学】	
フッ素を使わず環境に優しい繊維加工用の撥水剤「NEOSEED (ネオシード)」を開発。認知度向上を目指し、ブランド戦略を強化する。アパレル製品に対する撥水・耐久性の高さに加え、ハスの葉をヒントにしたストーリー性を発信する。	日華化学 (福井市)
【伝統工芸】	
越前和紙の卸の同社は、本社の敷地内に和紙のギャラリーを開発した。約100年前の土蔵を改装し、ホテルなどのインテリアに使う大型の和紙などを展示する。主に取引先向けの業務用だが、毎月第4土曜日には一般に公開する。	杉原商店 (越前市)
【その他の製造業】	
警察・消防紋章などセラミックス製品製造の同社は、白や黒、グレーなどモノトーンな色合いの家紋を商品化した。モダンな建築物に合うのが特徴で、家やガレージ、蔵の壁面に取り付けてもらう。	廣部硬器 (福井市)
箸職人宮保克行氏が、手に障害がある人にも使いやすい箸を考案した。親指が動かなくても、握る力が弱くてもそのまま使えるデザインで、7年かけて改良を重ね完成形にたどり着いた。	箸factory宮bow (福井市)
同社は、ため池や河川の護岸に使うブロックマットで、除草などの手間を減らした新製品を発売した。ポリエステルシートの上にコンクリートブロックを多数貼り付けた土木資材、雑草がシートの下から根を張りにくい構造にした。	前田工織 (坂井市)
教材・遊具を企画販売する同社は、室内に並べた様々な形のクッションを一周して楽しむ「サーキット遊び」の遊具を開発した。ジャンプや平均台、階段の上り下りなどの運動ができる。庭が小さい施設の需要を見込んでいる。	ジャックエツ (敦賀市)
仏壇・仏具製造販売、修理の同社は、金属のような質感の越前焼で制作した仏飯器「まんまんちゃん」を商品化した。寺の住職や陶芸家、デザイナーと連携して企画、子どもを持つ家庭向けに提案する。	本田仏壇堂 (福井市)
同施設は、町産の木材を使った積み木ブランド「つみきの木」を発足させ、新商品の販売を開始した。福井国体のデモンストレーションスポーツ「タッター」を、卓上で楽しめるようにした「タッターミニ」など、年齢に関係なく遊べるようにした。	おもちゃハウスこどもと木 (池田町)
【商業/サービス】	
ガラス、鏡のインターネット販売を手掛ける同社は、各企業で余った商品や端材を無料、安価で消費者に提供するための仲介サイト「AGERU.JP」を立ち上げた。年明けの本格運用を目指し試験運用中で、出品企業を募っている。	OOKABE GLASS HD (福井市)
雑貨商社の同社は、県の公式恐竜ブランド「ジュラテック」とサンリオの「ハローキティ」のコラボによるぬいぐるみ「かぶりラプト」を商品化した。キティが恐竜のかぶり物をしたデザインで、かぶり物をずらせばキティの顔だけ出せる。	ザウルス (坂井市)
清酒醸造の同社は、商品パッケージを刷新する。スマートフォンで読み込むと各商品の詳細情報が見られるQRコードをラベルに印刷したり、けがをしにくいキャップを採用したりする。一部を除いてほぼ全ての商品に適用する。	黒龍酒造 (永平寺町)



# 経営者・個人事業主のみなさまへ

法人カードはビジネスをトータルにサポートする  
信頼と安心のカードです。



経理の合理化・効率化が可能



出張経費に



効率的な資金運用

## 様々なシーンで業務の効率化が図れます!!



ガソリン代に



仕事とプライベートの切り分けが明確に



接待交際費に

ご利用合計金額に応じてポイントがたまり、ギフトカードなど  
バラエティー豊かな商品に交換できます。



お申込みはお近くの福井銀行窓口まで。(福井銀行は DC カード、JCB 法人カードの取次をしています。)

## 株式会社福井カード FUKUI BANK GROUP

〒910-0023 福井市順化1丁目2番3号 TEL.0776- 21-7881 (9:00~17:00 土日祝休み)

貸金業者登録番号: 北陸財務局長(11)第00024号/包括信用購入あっせん業者登録番号: 近畿(包)第10号  
日本貸金業協会会員 第002758号/一般社団法人日本クレジット協会会員 第041340000号

福井カード

検索